

3)産業系施設

施設分類	施設名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年数	耐震補強	廃止・移譲 検討
産業系施設	大栄歴史文化学習館	大栄	891	1994	26	-	
	お台場公園サービスエリア	大栄	406	1992	28	-	
	北条砂丘公園センター	北条	949	1989	31	-	
	大野共同作業場	北条	268	1976	44	-	○
	国坂ぶどう団地資材保管庫	北条	1,033	1983	37	-	○
	フルーツドーム	北条	720	1992	28	-	○
	後口谷畜産団地	大栄	4,092	1979	41	-	○
	東亀谷共同作業所	大栄	271	1977	43	-	○
	東亀谷野菜集荷所	大栄	332	1978	42	-	○
	現状の延床面積 合計【A】		8,962				
	縮減目標の延床面積 合計【B】		6,716				
	縮減率 【B/A】		74.9%				

① 現状や課題に関する基本認識

産業系施設は観光施設、販売施設及び産業振興施設に分類されます。

観光施設は平成6年度に大栄歴史文化学習館として開設され、平成19年3月に青山剛昌ふるさと館としてリニューアルしました。現在も本町の観光拠点として国内外から多くの観光客が訪れています。

販売施設は、国道9号線沿いの道の駅大栄及び道の駅北条公園に設置されている物販施設です。道の駅大栄は全国の道の駅第一号としても有名であり、本町の名産品等を販売しています。平成に入ってから建てられたものであり、比較的新しい施設であるものの、外壁等に傷みが生じつつあります。

産業振興施設は昭和50年代に建てられたものが多く、老朽化が進んでいます。また、多くが農業用施設であり、地元の住民に管理を委託しています。

② 管理に関する基本的な考え方

観光施設は本町のまちづくりのテーマの1つである「コナンの里づくり」の中心となる施設であり、計画的な修繕により施設機能を維持します。

青山剛昌ふるさと館については、「青山剛昌ふるさと館再整備基本計画」に基づき、移転新築による整備を進めます。

販売施設は、地元の特産品をはじめ本町の魅力をPRする情報発信の拠点となる施設であり、計画的な修繕により施設機能を維持します。

産業振興施設のうち、フルーツドームと後口谷畜産団地は廃止が決定しています。それ以外の施設も地元等への移譲を進めます。